

重点目標 (めざす姿)		具体的方策	主担当	評価指標	<評価の根拠> 達成度判断基準	教職員アンケート	児童アンケート	保護者アンケート	取組状況	評価	今後の改善点と具体的方策
1	組織力の向上	①【組織力向上】 主任等を中心とした各組織が学校ビジョン実現に向け、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善を行い、行動ベクトルを一つにしている。	教頭	・学力向上・生徒指導・健康安全・研究の各委員会が主体となって「児童と取り組み目標を共有し、取り組み後に児童とふり返しを行い、それをもとに達成を共感し改善策を考えた。」に当てはまると答える教師の割合（事前指導・事後評価） ・「児童集会・運動会・避難訓練などの行事で、めあてを先生と確認して取り組んだ後、ふり返しをし、めあてを達成できた」に当てはまると答える児童の割合	<教・児アンケート> A：＋評価90％～ B：80％～ C：70％～ D：70％未満	・児童と取り組み目標を共有し、取り組み後に児童とふり返しを行い、それをもとに達成を共感し改善策を考えた	・児童集会・運動会・避難訓練などの行事で、めあてを先生と確認して取り組んだ後、ふり返しをし、めあてを達成できた				
		②【働き方改革の推進】 ICTを活用した業務の質的改善により平準化を図り、学年会・校務委員会を核としたチーム学校の指導体制を構築する。	教頭	・「学年で教科別担任制を導入し、ICT教材を含めて教材を共有化することで、授業準備の質向上と時間短縮ができた」に当てはまると答える教師の割合 ・校務委員会内のマネジメント機能を強化し、会議の精選・業務の見直しを行い、時間短縮を図る。	<教師アンケート> A：＋評価90％～ B：80％～ C：70％～ D：70％未満	・学年で教科別担任制を導入し、ICT教材を含めて教材を共有化することで、授業準備の質向上と時間短縮ができた					
		③【人材育成の推進】 週1回学年会を設け、日常的OJTを促進する。	主幹	・「学年会で学習指導、生徒指導、行事等についてめざす児童の姿（目標）、手だてや指導の流れ、ふりかえりの指導の改善を話し合い、共通実践することができた」と答える教師の割合	<教師アンケート> A：＋評価90％～ B：80％～ C：70％～ D：70％未満	・学年会で学習指導、生徒指導、行事等についてめざす児童の姿（目標）、手だてや指導の流れ、ふりかえりの指導の改善を話し合い、共通実践することができた					
2	知（確かな学力の育成）	①【整理して理解する力を育成する取組】 見方考え方を働かせ、読み取った内容を整理し、理解する学習を行う。	研究	・「単元においてつきたい力を具体化し、児童が整理し理解したことを表現する実践ができた」と答える教師の割合 ・「学んだことを生かして、整理して理解したことを表現できた」と答えた児童の割合	<教・児アンケート> A：90％～ B：80％～ C：70％～ D：70％未満	・単元においてつきたい力を具体化し、児童が整理し理解したことを表現する実践ができた	・学んだことを生かして、整理して理解したことを表現できた				
		②【個に応じた学びと協働的な学びの一体的な充実】 デジタル学習基盤を効果的に活用し、児童一人ひとりのニーズに応じた学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。	研究	・「ICTを活用し、学習の進捗状況を見取る工夫や個の学びをより深める他者参照を行うことができた」と答える教師の割合 ・「互いに教え合ったり、話し合ったりすることで、自分の学びを更新することができた」と答える児童の割合	<教・児アンケート> A：80％～ B：70％～ C：60％～ D：60％未満	・ICTを活用し、学習の進捗状況を見取る工夫や個の学びをより深める他者参照を行うことができた	・互いに教え合ったり、話し合ったりすることで、自分の学びを更新することができた				
		③【意図的・計画的な学力向上の取組】 学力ロードマップを軸に、6年間を見通した意図的・計画的な学力向上の取組を推進する。	主幹	・「思考・判断・表現力」を問う問題で90点以上を達成した児童の割合（国語・算数） ・学期末の漢字・計算テストでそれぞれ90点以上を達成した児童の割合 ・「系統性を捉え、つけるべき力を明確にして指導することができた」と答える教師の割合	<教育的データ> A：80％～ B：70％～ C：60％～ D：60％未満 <教師アンケート> A：90％～ B：80％～ C：70％～ D：70％未満	・系統性を捉え、つけるべき力を明確にして指導することができた					
3	徳（多様な自尊と温かな集団作り）	①【生徒指導の4つの視点を生かした教育活動】 生徒指導の4つの視点を生かした教育活動に取り組み、児童が安心して学校生活を送れるよう、組織的かつ継続的な指導を行う。	生徒指導	・チェックシートで自己存在感（愛める・認める）の項目で肯定的評価がつく教師の割合 ・「児童を認める声かけを意図的にやっている」と答える教師の割合 ・「学校が楽しい」に（当てはまる）と答える児童の割合 ・「お子さんは学校生活を楽しんでいる」と答える保護者の割合	<教・児・保アンケート> ＋評価 A：90％～ B：80％～ C：70％～ D：70％未満	・児童を認める声かけを意図して行っている	学校が楽しい	お子さんは学校生活を楽しんでいる			
		②【いじめ・不登校等の未然防止】 日常的な情報共有を徹底し、いじめや不登校に対して、組織的に対応する。ハッピーレター等の取組を活用し、温かい集団作りを支援する。	生徒指導	・「気になった事はすぐに学年で相談し、生徒指導主事・管理職等と情報共有し、対応した」と答える教師の割合 ・「友達の良いさを見つけ伝えている」と答える児童の割合 ・「お子さんの相談や困り事に対して、学校は迅速に対応している」と答える保護者の割合	<教・児・保アンケート> ＋評価 A：90％～ B：80％～ C：70％～ D：70％未満	・気になった事はすぐに学年で相談し、生徒指導主事・管理職等と情報共有し、対応した。	・友達の良いさを見つけ伝えている	・お子さんの相談や困り事に対して、学校は迅速に対応している。			
4	体（健康で自律的生活習慣の確立）	①【知識や技能を身につける取組】 発達段階に応じた、校内ルールの意義や熱中症の予防法、廊下歩行等の安全な生活の仕方を具体的に指導し、自分や他人の命を守るために必要な知識・技能を確実に身に付ける取組を行う。	保健主事	・「学校生活全般を通して、児童が安全な生活に必要な知識を計画的に指導している」に当てはまると答えた教師の割合 ・「熱中症の防ぎ方やろうかを歩くなど、安全な学校生活の仕方が分かって通っている」に当てはまる児童の割合 ・「お子さんは、学校のきまりや安全な過ごし方について理解し、実行できていると感じている」に当てはまる児童の割合	<教・児・保アンケート> ＋評価 A：～85％ B：～75％ C：～65％ D：65％未満	・学校生活全般を通して、児童が安全な生活に必要な知識を計画的に指導している	・熱中症の防ぎ方やろうかを歩くなど、安全な学校生活の仕方が分かって通っている	・お子さんは、学校のきまりや安全な過ごし方について理解し、実行できていると感じている			
		②【思考力や工夫する力の育成推進】 児童が課題解決に向けて作戦や練習方法を工夫する場を充実させ、運動の楽しさを味わいながら自ら学びを深める思考力を育成する、体育の授業や体育的行事を推進する。	保健主事	・「児童が自ら考え、工夫できる場を授業や行事に設定しようとした」に当てはまると答える教師の割合 ・「体育の授業や行事で、もっと上手くなったり楽しんだりするために、自分なりにやり方を考えたり工夫したりできた」に当てはまると答える児童の割合	<教・児アンケート> ＋評価 A：～85％ B：～75％ C：～65％ D：65％未満	児童が自ら考え、工夫できる場を授業や行事に設定しようとした	体育の授業や行事で、もっと上手くなったり楽しんだりするために、自分なりにやり方を考えたり工夫したりできた				
5	家庭・地域との連携	①【PTAや学校運営協議会との連携】 PTAや学校運営協議会と連携を深め、地域人材や資源を活用した体験活動の充実をめぐる。	教頭	・「PTAや学校運営協議会等と連携し、学習サポートや地域の方の力を借りて、体験的な学習活動を進めることができた」と答える教師の割合 ・「朝の読み聞かせや生活・総合の学習などで、地域の先生からいろいろと学ぶことができた」と答える児童の割合	<教・児アンケート> ＋評価 A：90％～ B：80％～ C：70％～ D：70％未満	・PTAや学校運営協議会等と連携し、学習サポートや地域の方の力を借りて、体験的な学習活動を進めることができた	・朝の読み聞かせや生活・総合の学習などで、地域の先生からいろいろと学ぶことができた				
		②【開かれた学校づくり】 学校教育活動の様子を家庭や地域に積極的に発信し、信頼される学校づくりを進める。	教頭	・「学校は学校だよりやホームページ、学校のことを積極的に家庭や地域に伝えている」に当てはまると答える教師、保護者の割合	<教・保アンケート> ＋評価 A：85％～ B：75％～ C：65％～ D：65％未満	学校は学校だよりやホームページ、コードモン等で、学校のことを積極的に家庭や地域に伝えている	学校は学校だよりやホームページ、コードモン等で、学校のことを積極的に家庭や地域に伝えている				